

三重県における「指導救命士」 の育成と制度の運用について

平成27年12月4日

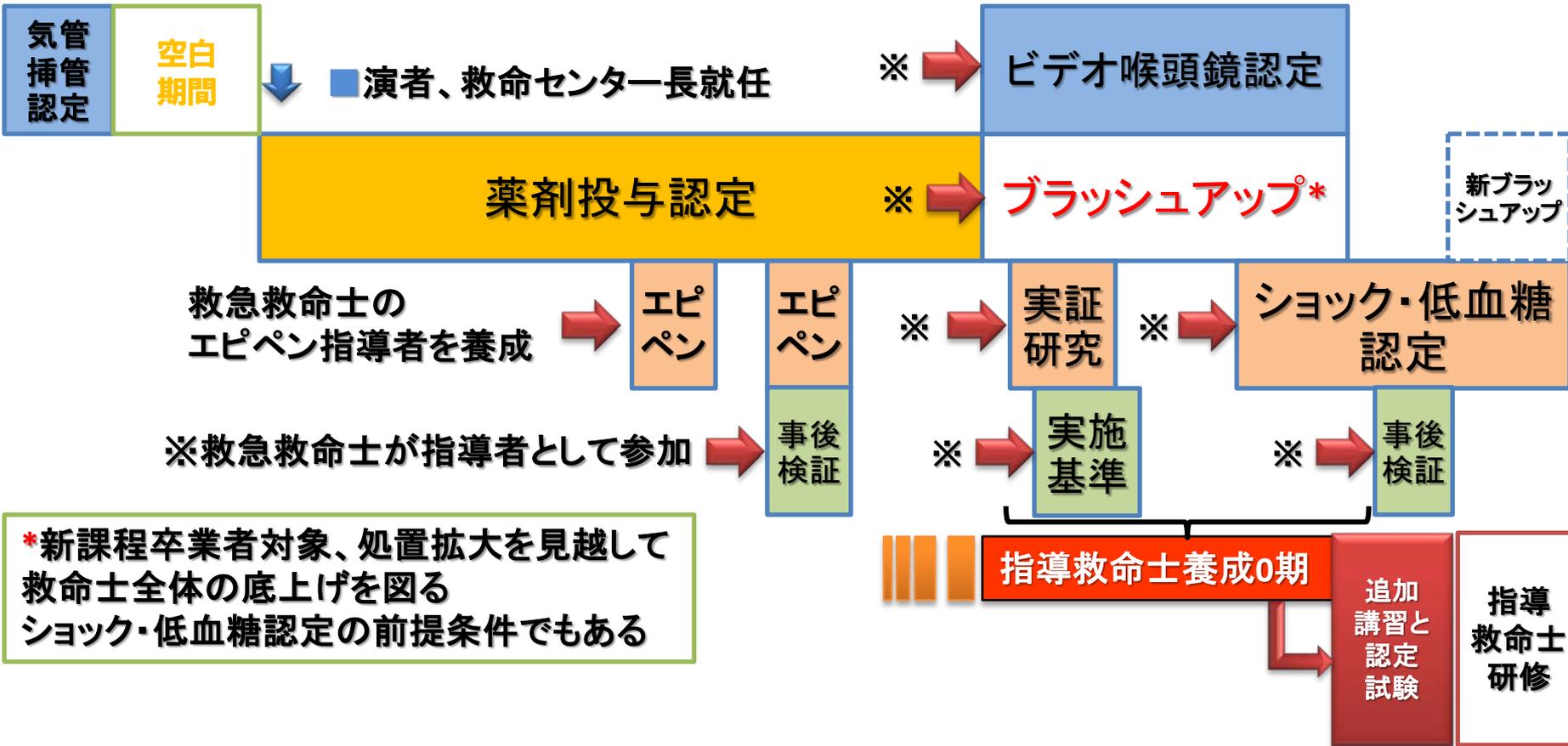
三重県指導救命士 富田泰成

本日の話題

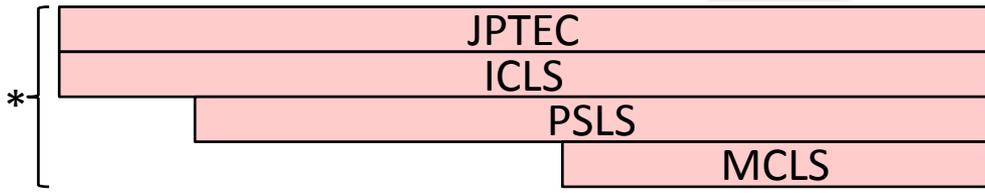
1. 三重県における指導救命士制度
 - 指導救命士制度運用までの経緯
 - 指導救命士運用要綱の特徴
2. 指導救命士体制の紹介
 - 認定経緯・運用状況、担当業務等
3. 今後の展望と課題

三重県における認定講習等の歩み

2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016



*新課程卒業生対象、処置拡大を見越して救命士全体の底上げを図る
ショック・低血糖認定の前提条件でもある



*各標準化コースを県MCの事業とし、指導者(養成)セミナーと銘打って救命士の参加を促す

三重県指導救命士の養成0期

各種資料を基に指導救命士認定に不足する講習を追加

1. 関係法令
2. 接遇要領
3. 事後検証のありかた、検証結果のフィードバック
4. 災害医療
5. 症例検討会、各種コースの計画と運営



筆記試験(5者選択88問+自由記載)100点満点 平均92.4点(88-98)

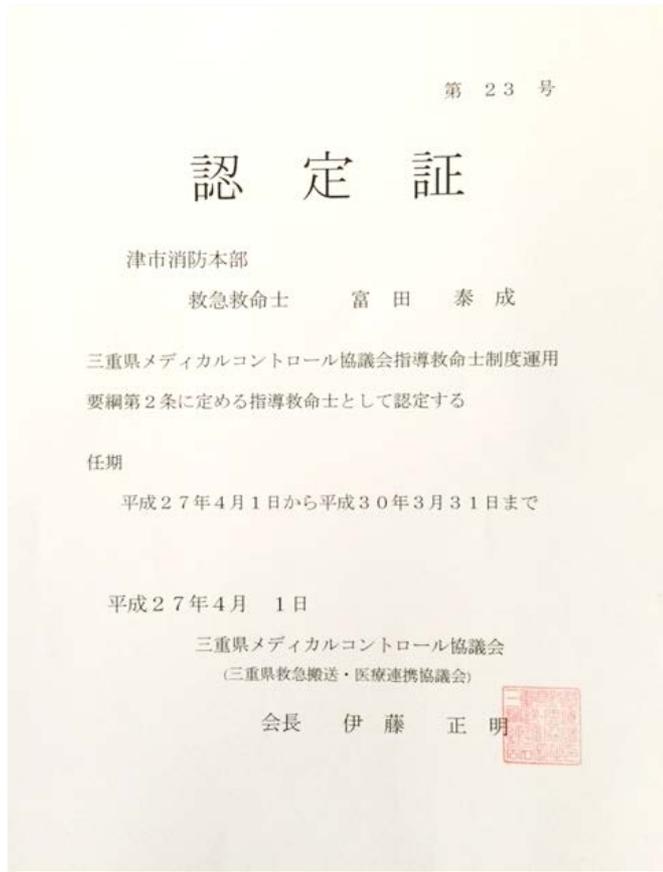
(認定)講習に指導者として参加し、MC医師から指導態度の評価を受ける



初代 三重県指導救命士

認定証とエンブレム

平成27年4月1日 三重県メディカルコントロール協議会
養成研修0期教育から認定試験合格者32名を認定



三重県指導救命士
(ワッペン)

三重県指導救命士の担当業務

消防本部	地域MC協議会	県MC協議会*
<ul style="list-style-type: none">・救急隊員の指導・育成・救命士再教育への関与・事後検証担当・地域MC協議会との連絡調整・救急ワークステーションでの指導など	<ul style="list-style-type: none">・地域MC協議会への参画・事後検証委員会への参画・研修会の企画運営・病院実習計画の策定・院内研修の補助など	<ul style="list-style-type: none">・集合研修の講師・教材作成への参画・県MC協議会への参画・国が企画する研修への参画など

*県MCレベル以上への参画は上級指導救命士を想定している

三重県指導救命士の運用状況

1. 各所属における研修(企画・運営・指導)
2. 追加特定行為認定講習(運営・指導)
3. 指導救命士講習(指導)

※県MC等への参画は前任者の任期満了後に検討

指導救命士による指導の風景



講義風景



シミュレーション実習風景

指導救命士運用後の効果について

- 医学的根拠に基づいた指導が実現した。
(指導救命士の88%が養成研修で指導力を身に付けたと回答)
- 経験豊富な指導救命士により現場活動に即した有効な指導が実現した。
(指導救命士の100%が経験が生かされていると回答)
- 三重県下すべての消防本部で、指導救命士による事前研修が実施された。

今後の課題

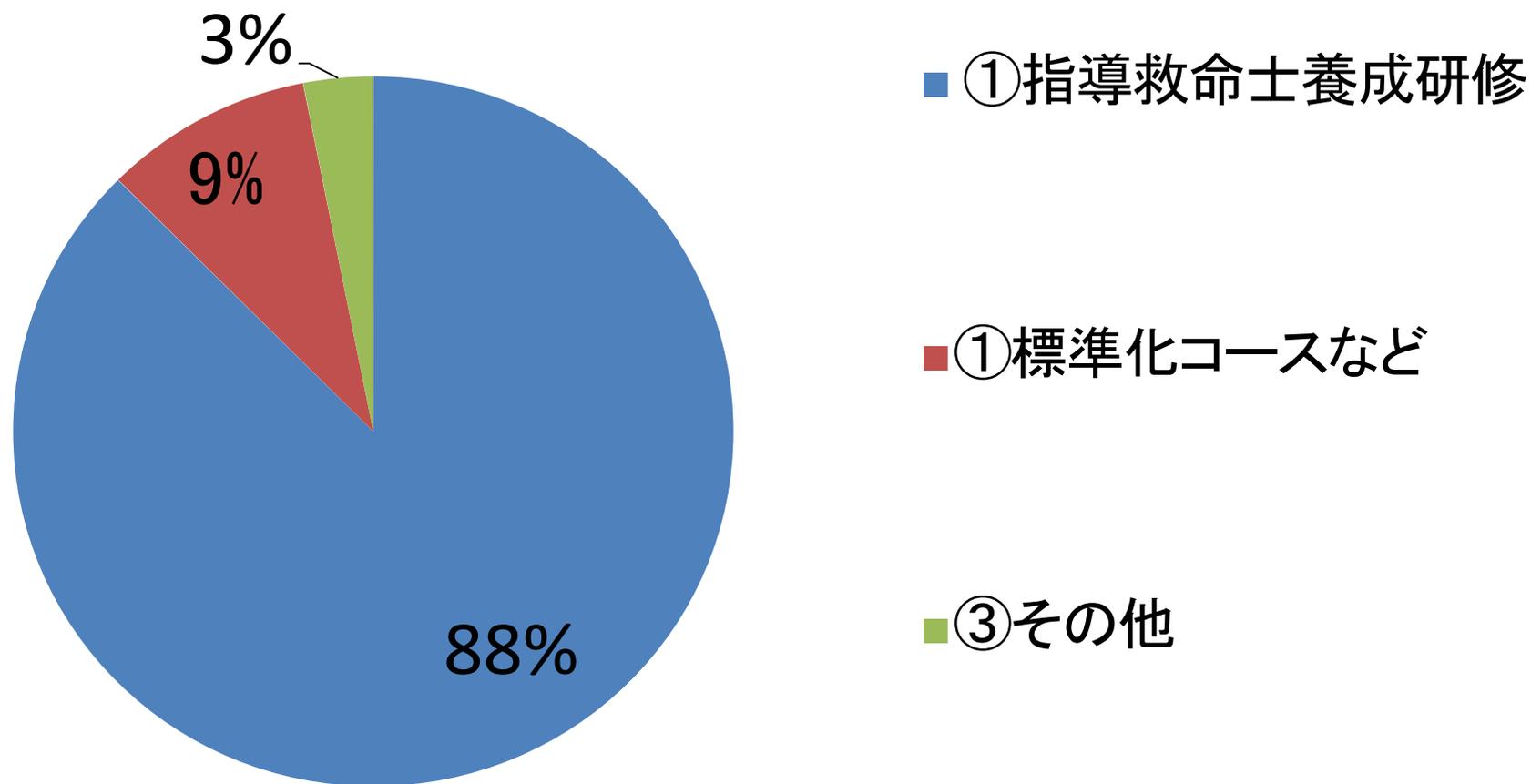
- 指導救命士に対する継続的な教育が困難である。（指導医師・会場確保、予算）
- 消防組織が各地域に分散しており、集合研修への負担が大きい。（移動時間、宿泊）
- 三重県下の消防本部で開催されている研修の開催方法も様々である。
（本部の支援の有

無）

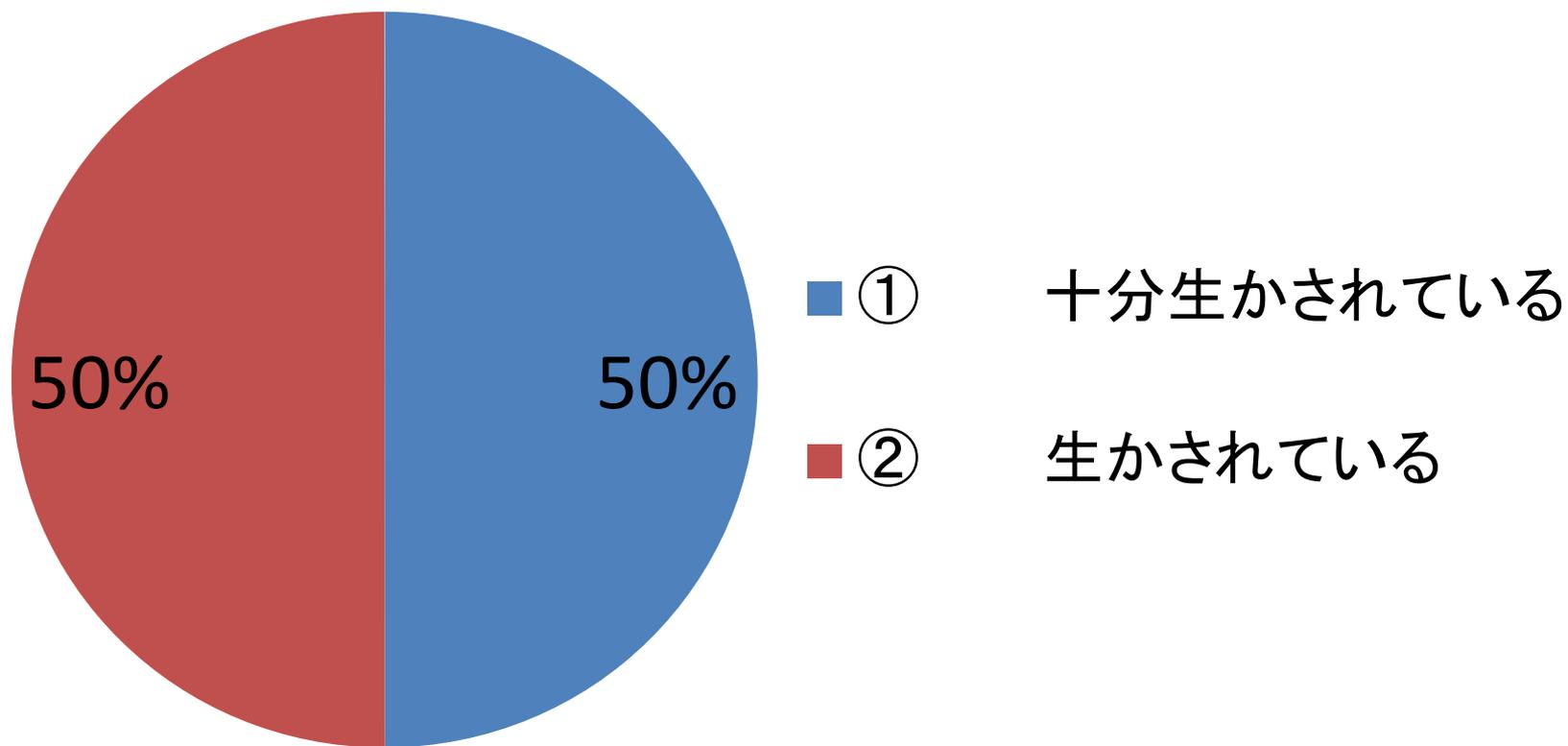


ご清聴ありがとうございました。

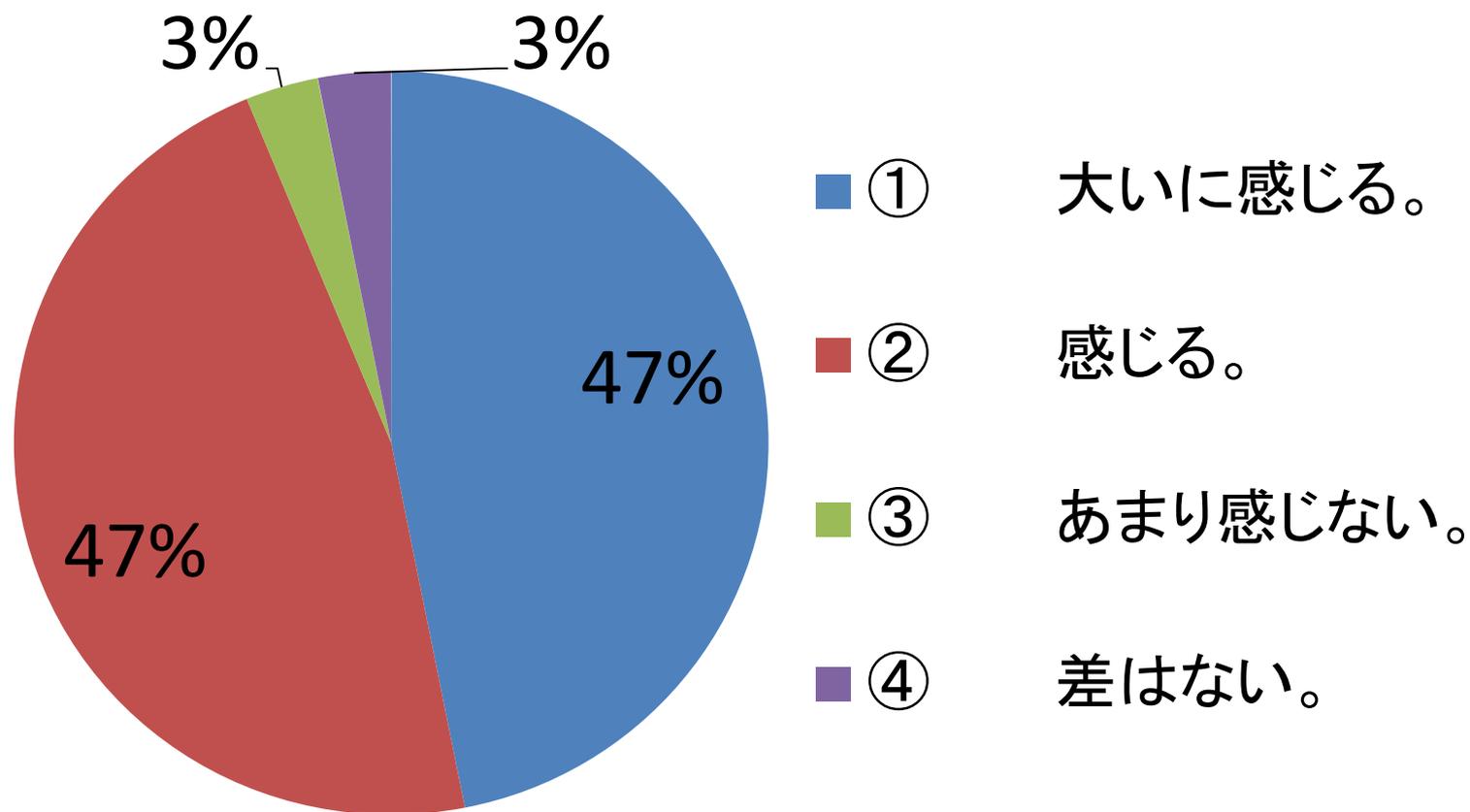
1. 指導救命士として医学的根拠に基づいた指導を可能にした、最も影響力のあったものを次から選んでください。



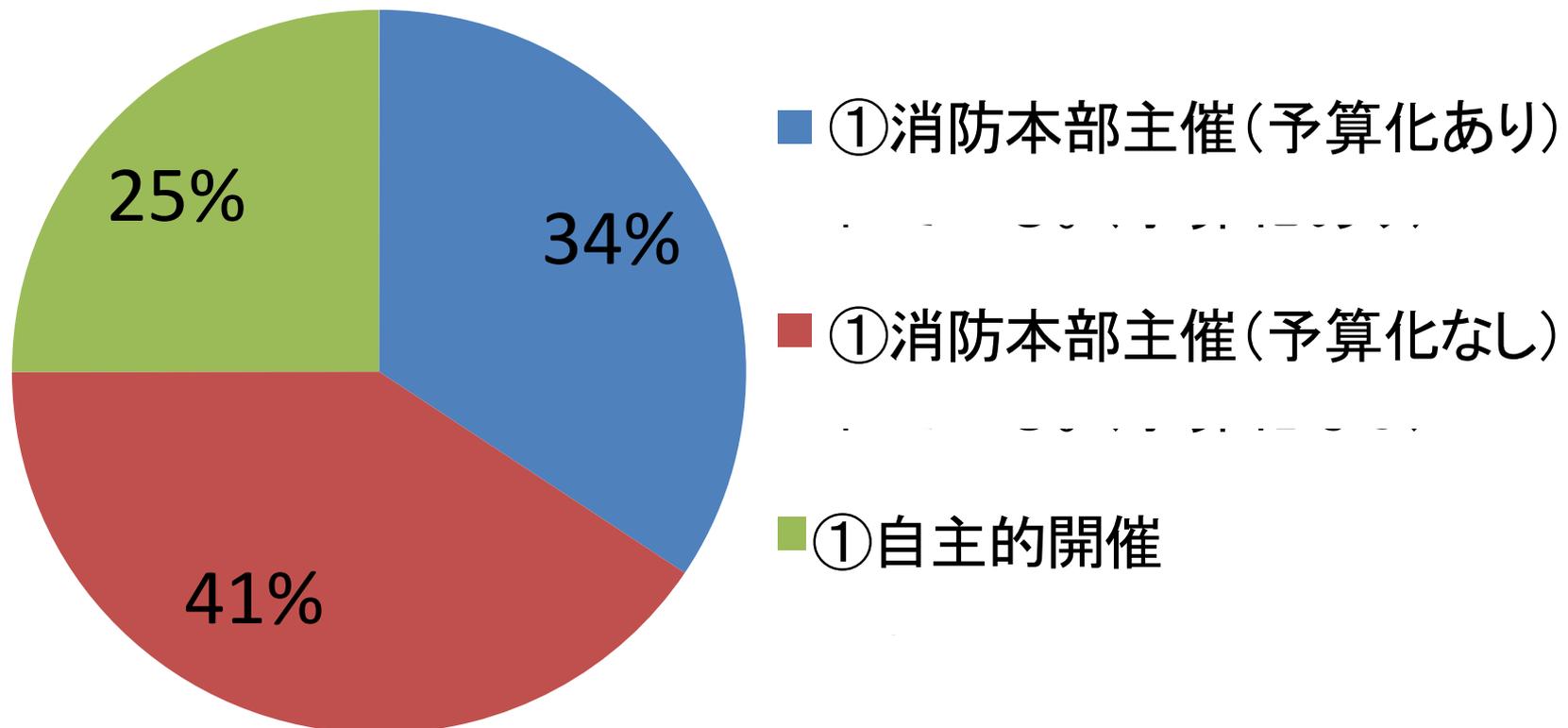
2. 現場活動に関する教育を行う際、自分の経験が指導に生かされていますか。



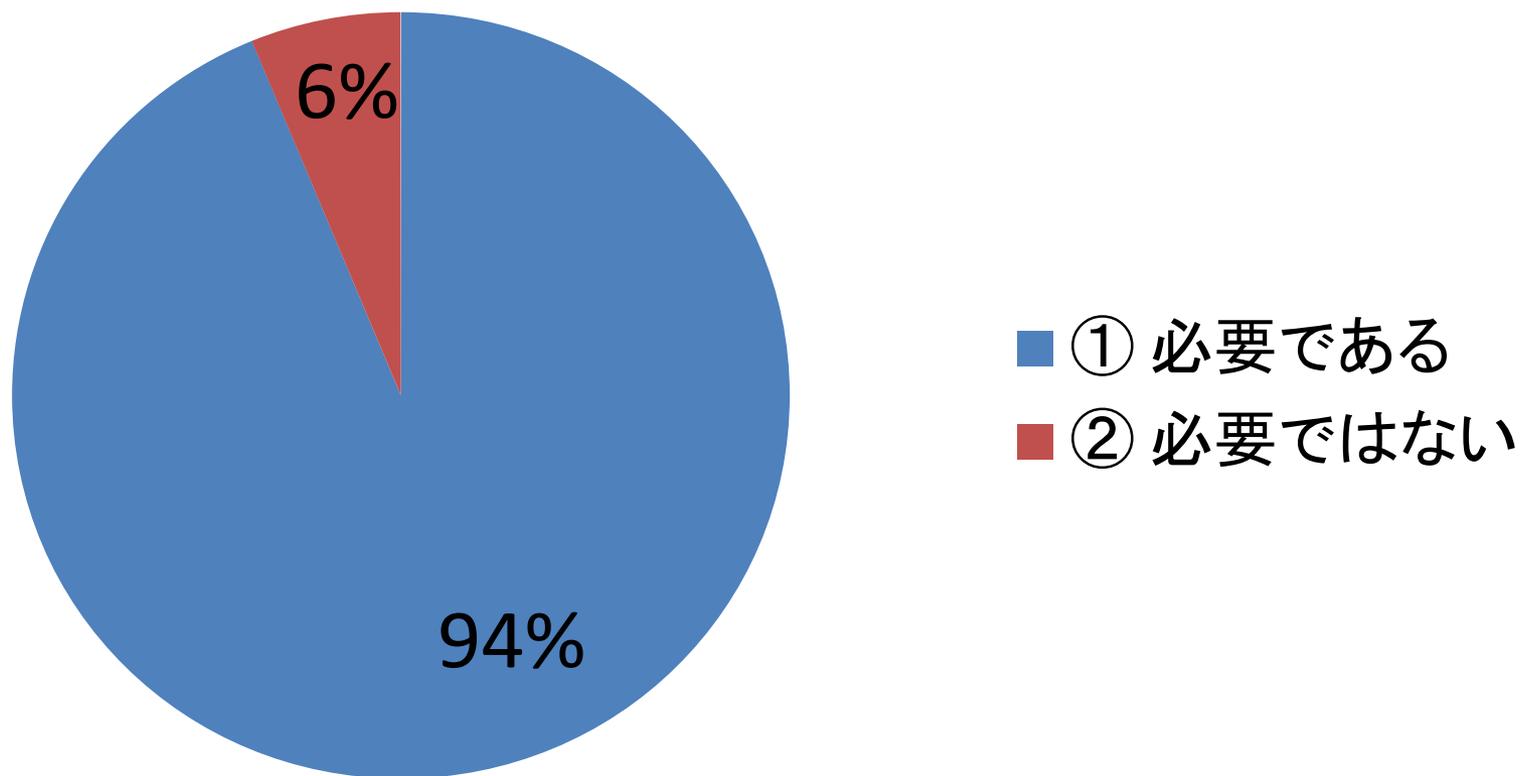
3. 標準化されたコースでインストラクターを経験がある指導救命士と経験がない指導救命士について指導力に差を感じていますか。



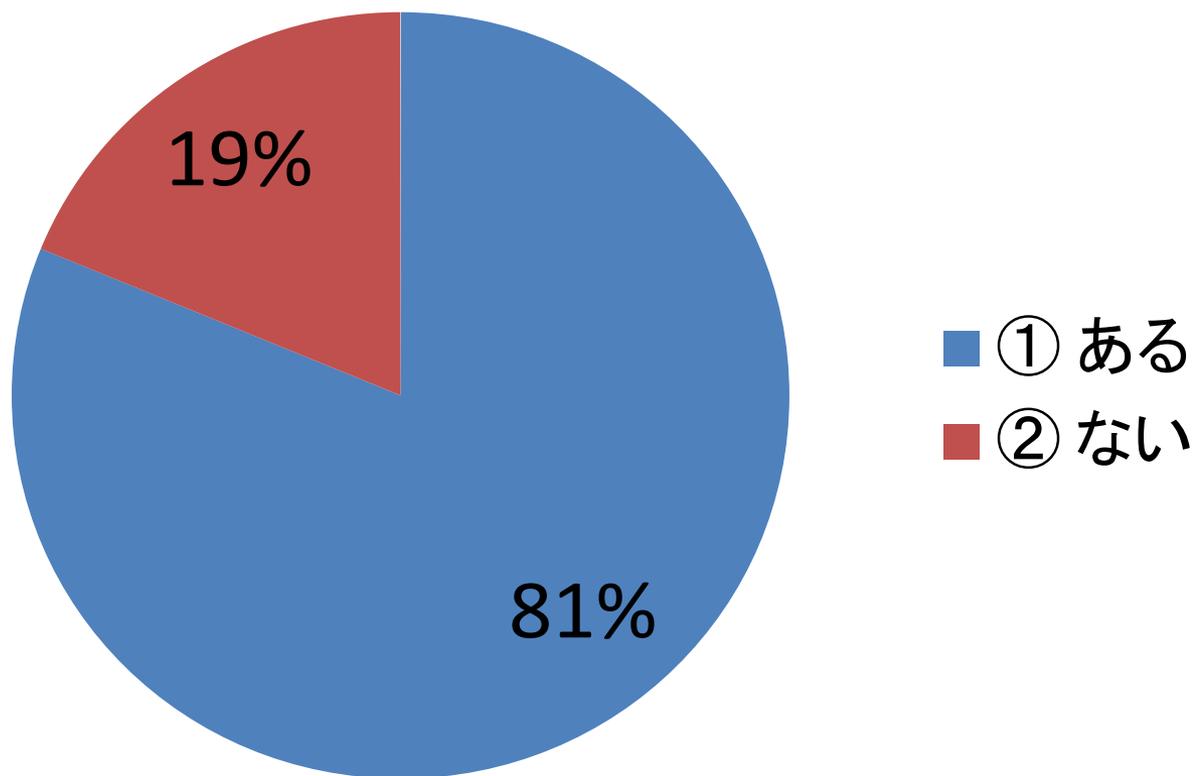
4. 講習前の各所属で行われている講習や訓練について



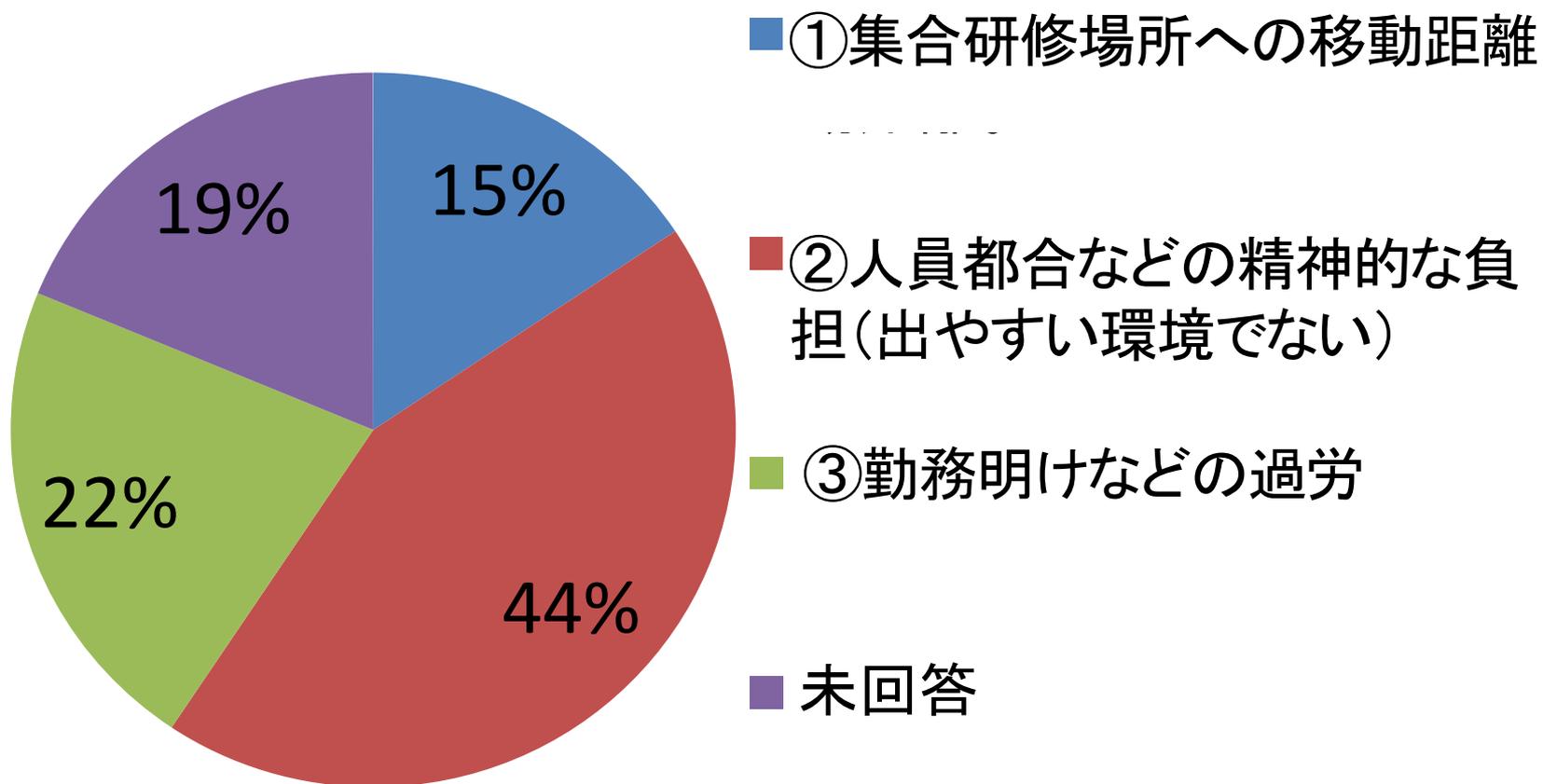
5. 指導救命士に対する継続的な教育が必要であると思いますか。



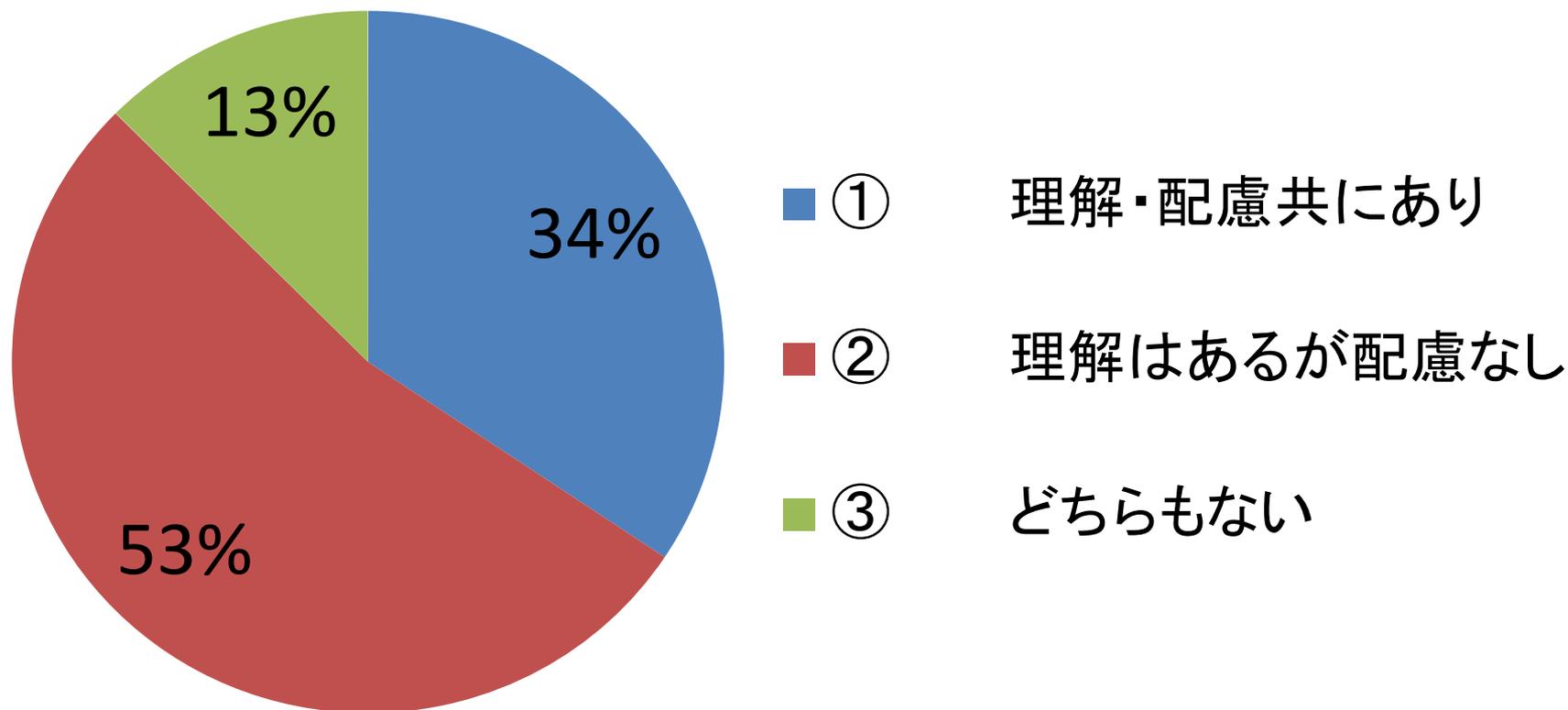
6. 指導救命士の指導、または研修に対して負担の大きさを感じたことがありますか。



6-2. 何に負担の大きさを感じましたか。



7. みなさんの所属する本部では、指導救命士の立場や立ち位置を理解した配慮はありますか。



8.指導救命士の認定試験(筆記試験)についての感想を教えてください。

